

## 令和5年度 第2回 菰野町入札監視委員会 議事概要

開催日及び開催場所	令和6年3月27日 庁舎3階 303会議室
出席者氏名	委員 長 山本 哲士 委員 澤田 博 委員 武藤 隆夫
審議対象期間	令和5年9月1日 ~ 令和6年1月31日
抽出案件	4件
報告事項	○発注工事について ○指名停止等の運用状況について
審議事項	○抽出事案について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定環境保全公共下水道事業 北部第8污水管渠布設工事5-8工区</li> <li>・ ライフライン機能強化事業 潤田浄水場耐震工事</li> <li>・ 菰野町斎場火葬炉等改修工事（機械器具設置工事）</li> <li>・ 普通河川友谷川護岸補修工事</li> </ul>
質問・意見	<p><b>1 発注工事及び指名停止等の運用状況について</b></p> <p>（契約状況について）</p> <p>委員： 一般競争入札13番の発注区分は水道施設工事となっておりますが、施工可能業者は何者程度あると想定されておりましたか。</p> <p>事務局： 今回の発注案件となっていた東海3県には40者程度ある見込みでしたが、近隣市町等の開札結果を参考にすると、多くて3者程度の応札になると想定されました。</p> <p>委員： 一般競争入札12番の入札参加業者数は3者であり、うち2者が最低制限価格未満で失格とのことですが、理由は何が考えられますか。</p> <p>事務局： 失格となった2者は最低制限価格を1万円下回っており、見積時の積算誤差によって、最低制限価格を結果的に下回ってしまったものと考えられます。</p> <p>事務局： 防水工事は土木一式工事等と異なり、公共工事の設計単価が明確に決まっていない部分があることも積算誤差の原因として考えられます。</p> <p>委員： 一般競争入札6番の入札不調の理由はなんですか。</p> <p>事務局： 入札参加業者数が1者であり、その業者が最低制限価格を下回り失格となったことによるものです。不調になった後、随意契約にて最低制限価格と同額で契約しています。</p> <p>（指名停止等の運用状況について）</p> <p>委員： 指名停止期間の設定基準はありますか。</p> <p>事務局： 菰野町建設工事等指名（入札参加資格）停止措置要領によって決定しています。</p>

## 2 抽出事案について

(特定環境保全公共下水道事業 北部第8污水管渠布設工事5-8工区)

委員： 変更契約の理由はなんですか。

事務局： 推進工事に使用する機器の確保が困難であったことによる工期延長です。

(ライフライン機能強化事業 潤田浄水場耐震工事)

委員： 金額が大きい工事ですが、支払い方法はどうなっていますか。

担当課： 契約時に確認した結果、前払金、中間前払金は不要ということでした。

委員： 他の施設の耐震化は進んでいますか。

担当課： 過去の耐震診断時に耐震化が必要と判断された施設を耐震化しています。以前には本工事と同様に耐震化が必要と判断された大羽根浄水場の耐震工事を行っています。大きな施設としては、本工事にて施工する潤田浄水場が最後となります。

(菰野町斎場火葬炉等改修工事 (機械器具設置工事))

委員： 施工業者は富山の業者ですが、能登半島地震による影響はありませんでしたか。

担当課： 地震の影響はなく、現在のところ計画どおりに進行しています。

(普通河川友谷川護岸補修工事)

委員： この工事は施工箇所の近辺で三重県が施工する河川護岸災害復旧工事の関連工事であるとのことですが、この工事箇所を三重県が施工しない理由はなんですか。

担当課： 友谷川は町管理河川であり、本来、町が施工するものですが、砂防指定地に係る部分については三重県が施工しています。本工事は砂防指定地でない箇所を施工するものです。

## 3 その他

事務局： 来年度より入札制度を改正する予定です。主な内容は建設工事の入札に係る予定価格の事後公表の導入、総合評価方式の導入、建設工事発注基準の改正です。

委員： 週休二日の休みには雨天等による休工も含まれますか。

事務局： 雨天等による休工は週休二日に含まれます。

会議資料

- ・発注工事総括表、入札方式別発注工事一覧表、指名停止等の運用状況一覧表
- ・各抽出事案の競争入札結果表、工事台帳、施工場所位置図
- ・入札制度改正に関する資料